

中小企業景況調査報告書

平成24年度第2・四半期（7～9月）

山内一豊

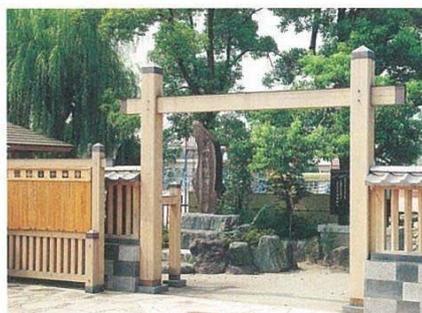


(財)土佐山内家宝物資料館所蔵
Kazutoyo Yamouchi

生 年 1545年(天文14)
没 年 1605年(慶長10)
享 年 61歳
出身地 尾張國黒田
幼 名 辰之助

郷土が生んだ戦国武将
「山内一豊」出生の地

黒田城跡



Site of Kuroda Castle

一宮市観光協会提供

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。

II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。

III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。

IV. 調査対象企業数 100事業所。

V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

(1) 景況調査対象事業所(100)の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(13)
卸売業	13
小売業	10
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所(48)の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	7
織物製造業	26
染色整理加工業	7
縫製加工業	3
そ の 他	5
合 計	48

VI. 分析 方法 1. D I (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値

2. D I 分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

VII. 分析 項目 1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員

2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

VIII. その他の分析 1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

1位3ポイント
2位2ポイント
3位1ポイント

今 期 の 概 況

持ち直してきた景況に一服感がみられる。

1. 前年同期比 D I 値の分析

(1) 業況D I 値

- ① 今期(表 1、3 参照)は、▲33.0 で、前回調査値 (H24.4~6 月期) と比較すると、▲11.0 ポイント (以下 P と記載) と、マイナス幅は拡大している。来期の見通しは、▲22.0 (今期数値との比較 11.0 P) で、マイナス幅は縮小している。
- ② 繊維製造業の今期(48 事業所、表 2、5 参照)も、▲37.5 で前回調査値と比較すると、▲6.2 P と、マイナス幅は拡大しており、来期の見通しは、▲31.3 (今期数値との比較 6.2 P) と、マイナス幅は縮小している。

(2) その他のD I 値

- ① 今期は、売上▲37.0、資金繰り▲14.0 で、前回調査値と比較すると、売上▲16.0P、資金繰り▲7.0P とマイナス幅は拡大している。一方、採算▲20.0、従業員▲1.0 で、前回調査値と比較すると、採算 8.0P、従業員 2.0 P と、マイナス幅は縮小している。来期の見通しは、資金繰り▲17.0 (今期数値との比較▲3.0P) ながら、売上▲31.0 (同 6.0P)、採算▲16.0 (同 4.0P)、従業員 1.0 (同 2.0P) で、マイナス幅は縮小している。
- ② 繊維製造業の今期も、前回調査値と比較すると、売上▲16.6P、資金繰り▲10.5 P とマイナス幅は拡大している。一方、採算 6.2P、従業員 6.3 P と、マイナス幅は縮小している。来期の見通しは、採算、資金繰り、従業員で横ばいながら、売上 6.2 P でマイナス幅は縮小している。

以上のことから、今期の景況には一服感がみられる。

2. 前期比 D I 値の分析

- ① 今期(表 7、8 参照)は、業況▲26.0、売上▲10.0、資金繰り▲9.0 で、前回調査値との比較では、資金繰りは横ばいながら、業況▲15.0P、売上▲4.0P でマイナス幅は拡大している。
- ② 繊維製造業(表 9、10 参照)についても、前回調査値との比較で、業況▲27.1 P、売上▲12.5 P でマイナス幅は拡大している。

3. 設備投資の動向

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 42 件(26 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』11 件、『O A 機器』9 件、『車両・運搬具』6 件、『付帯施設』6 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 33 件(22 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』7 件、『車両・運搬具』7 件、『O A 機器』7 件となっている。

以上のことから、今期の設備投資は、前回調査値(29 件、20 事業所)に比べ件数・事業所とも若干、増加している。

4. 直面している経営上の問題点(表 11 参照)

業種別の直面している経営上の問題点は、表 11 のとおり。多くの業種が、経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（製造業〈燃糸〉）

昨年は綿の価格が異常に高騰したが、現在は落ち着いている。例年 8 月～9 月は冬物から夏物への移行期で、10 月～12 月にかけて夏物の生産で忙しい。昨年の 10～12 月は例年の 2～3 割増の売上であったが、今年の見込みについては不透明である。

B 社（製造業〈織物〉）

消費が冷え込み尾州全体の業況が悪い。自社の売上も 8 月は過去最低、9 月も同様の見通しである。今後は、薄利多売でなく、いかに利益率を上げるかが生き残りの鍵である。

C 社（製造業〈染色〉）

大量生産品は、大手メーカーか中国企業が担っており、当社へは手間のかかる難しい仕事が多く大変である。しかも、受注単価も抑えられて利益面も厳しい。息子が後継者として一緒にやっているのでも、少しでも経営環境を好転させ前向きに考えたい。

D 社（製造業〈染色〉）

綿を染色している業者はなく競合は少ない。原料高により仕入価格は上昇しているが、売上への転嫁は交渉しているものの難しい。また、騒音問題とならないよう午後 8 時以降は工場を稼働していない。

E 社（製造業〈自動車部品加工〉）

ガソリンエンジン噴射ポンプ関係の部品の立ち上がりでラインは忙しい。自動車部品の大きな流れとしてはハイブリッド、電気自動車といわれるが、内燃機関の部品はアイドリングストップ等燃費向上関連部品はまだまだこれからと思う。ただ、生産拠点は海外移転されることは間違いなさそうで、今後の見通しは、引き合い活発なるも、製造期間は短期で変化していきそう。

F 社（卸売業〈食品容器〉）

主体である飲食業界向け販売は、個人事業主が多いため、相変わらず低調であるが、福祉業界向け販売は、比較的堅調であり、今後販売を強化する方針である。

G 社（小売業〈パン〉）

小麦など原材料は高止まりで推移しているが、売価を上げることは困難なため、利益幅が以前にも増して薄くなっている。経済情勢を反映して客単価は低下傾向にあるため、減収減益となり、厳しい経営環境にある。

H 社（小売業〈家電品〉）

4 月～8 月までは、猛暑等の影響からエアコン、太陽光発電システム、白物家電（洗濯機・冷蔵庫）の販売好調で、前年同期比 20%増加した。今後は、太陽光発電システム、リフォーム事業で売上増加を狙っている。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H23. 7～9月	H23. 10～12月	H24. 1～3月	H24. 4～6月	今 期 H24. 7～9月	来期の見通し H24. 10～12月
業 況	▲27.0	▲28.0	▲30.0	▲22.0	▲33.0	▲22.0
売 上	▲28.0	▲24.0	▲32.0	▲21.0	▲37.0	▲31.0
採 算	▲36.0	▲27.0	▲29.0	▲28.0	▲20.0	▲16.0
資金繰り	▲27.0	▲19.0	▲18.0	▲7.0	▲14.0	▲17.0
従 業 員	▲9.0	▲7.0	▲15.0	▲3.0	▲1.0	1.0

景況の推移（繊維製造業48事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H23. 7～9月	H23. 10～12月	H24. 1～3月	H24. 4～6月	今 期 H24. 7～9月	来期の見通し H24. 10～12月
業 況	▲26.5	▲30.6	▲42.9	▲31.3	▲37.5	▲31.3
売 上	▲14.3	▲18.4	▲30.6	▲31.3	▲47.9	▲41.7
採 算	▲34.7	▲30.6	▲34.7	▲35.4	▲29.2	▲29.2
資金繰り	▲34.7	▲24.5	▲20.4	▲8.3	▲18.8	▲18.8
従 業 員	▲10.2	▲4.1	▲14.3	▲4.2	2.1	2.1

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 (1)	8 (8)	1 (1)	1 (2)	0 (1)	10 (13)	▲ 33.0 (▲22.0)
	不変	4 (4)	22 (30)	9 (8)	5 (4)	7 (6)	47 (52)	
	悪化	3 (2)	31 (23)	3 (4)	4 (4)	2 (2)	43 (35)	
売上	増加	2 (1)	5 (7)	2 (0)	1 (1)	2 (2)	12 (11)	▲ 37.0 (▲31.0)
	不変	1 (4)	24 (25)	5 (7)	5 (6)	4 (5)	39 (47)	
	減少	4 (2)	32 (29)	6 (6)	4 (3)	3 (2)	49 (42)	
採算	好転	0 (0)	9 (9)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	15 (13)	▲ 20.0 (▲16.0)
	不変	3 (6)	27 (33)	10 (11)	6 (5)	4 (6)	50 (61)	
	悪化	4 (1)	25 (22)	2 (1)	3 (4)	1 (1)	35 (29)	
資金繰り	好転	1 (1)	3 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	5 (6)	▲ 14.0 (▲17.0)
	不変	2 (4)	46 (42)	12 (11)	9 (7)	7 (7)	76 (71)	
	悪化	4 (2)	12 (15)	1 (2)	1 (3)	1 (1)	19 (23)	
従業員	増加	1 (1)	8 (8)	1 (0)	1 (1)	2 (2)	13 (12)	▲ 1.0 (1.0)
	不変	4 (6)	45 (45)	10 (11)	9 (9)	5 (6)	73 (77)	
	減少	2 (0)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	2 (1)	14 (11)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	26	来期	計画している ※2	22
	(事業所数)	実施していない	74	(事業所数)	計画していない	78

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	2 件	2 件	5. 付帯施設	6 件	4 件
2. 工場建物	5 件	3 件	6. O A 機器	9 件	7 件
3. 生産設備	11 件	7 件	7. 福利厚生施設	1 件	1 件
4. 車両・運搬具	6 件	7 件	8. その他	2 件	2 件
複数回答可			合計	42 件	33 件

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	7	26	7	3	5	48	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1 (0)	2 (3)	2 (2)	0 (0)	2 (1)	7 (6)	▲ 37.5 (▲31.3)
	不変	3 (3)	9 (12)	2 (2)	1 (2)	1 (2)	16 (21)	
	悪化	3 (4)	15 (11)	3 (3)	2 (1)	2 (2)	25 (21)	
売上	増加	1 (1)	1 (2)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	4 (5)	▲ 47.9 (▲41.7)
	不変	2 (1)	11 (13)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	17 (18)	
	減少	4 (5)	14 (11)	4 (5)	1 (1)	4 (3)	27 (25)	
採算	好転	2 (0)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	1 (2)	7 (6)	▲ 29.2 (▲29.2)
	不変	2 (4)	13 (13)	3 (3)	1 (2)	1 (0)	20 (22)	
	悪化	3 (3)	11 (11)	2 (2)	2 (1)	3 (3)	21 (20)	
資金繰り	好転	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	▲ 18.8 (▲18.8)
	不変	4 (4)	21 (22)	4 (3)	2 (2)	4 (4)	35 (35)	
	悪化	3 (3)	3 (2)	3 (4)	1 (1)	1 (1)	11 (11)	
従業員	増加	1 (1)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	7 (7)	2.1 (2.1)
	不変	6 (6)	19 (19)	4 (4)	3 (3)	3 (3)	35 (35)	
	減少	0 (0)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	6 (6)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	12	来期	計画している ※2	9
	(事業所数)	実施していない	36	(事業所数)	計画していない	39

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	2 件	1 件	6. O A 機器	3 件	3 件
3. 生産設備	5 件	4 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	3 件	1 件	8. その他	0 件	1 件
複数回答可			合計	14 件	11 件

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H23.7～9月	H23.10～12月	H24.1～3月	H24.4～6月	今期 H24.7～9月
業況	▲15.0	▲20.0	▲34.0	▲11.0	▲26.0
売上	▲11.0	▲26.0	▲46.0	▲6.0	▲10.0
資金繰り	▲19.0	▲16.0	▲23.0	▲9.0	▲9.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0	6	3	0	1	10	▲ 26.0
	不変	3	30	7	8	6	54	
	悪化	4	25	3	2	2	36	
売上	増加	2	15	4	1	3	25	▲ 10.0
	不変	2	23	5	6	4	40	
	減少	3	23	4	3	2	35	
資金繰り	好転	0	3	0	0	2	5	▲ 9.0
	不変	4	49	13	9	6	81	
	悪化	3	9	0	1	1	14	

景況の推移 (繊維製造業48事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H23. 7～9月	H23. 10～12月	H24. 1～3月	H24. 4～6月	今 期 H24. 7～9月
業 況	▲14.3	▲30.6	▲40.8	▲10.4	▲37.5
売 上	▲14.3	▲38.8	▲63.3	0.0	▲12.5
資金繰り	▲24.5	▲18.4	▲20.4	▲8.3	▲8.3

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	7	26	7	3	5	48	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	1	0	0	1	2	4	▲ 37.5
	不 変	3	12	5	1	1	22	
	悪 化	3	14	2	1	2	22	
売 上	増 加	2	6	3	1	1	13	▲ 12.5
	不 変	3	8	2	1	2	16	
	減 少	2	12	2	1	2	19	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	0	2	▲ 8.3
	不 変	6	22	5	3	4	40	
	悪 化	1	2	2	0	1	6	

『直面している経営上の問題点』の集計表 表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○請負単価の低下・ 上昇難	○官公需要の停滞 ○民間需要の停滞	○事業資金の借入 難
繊維製造業	○需要の停滞	○製品(加工)単価 の低下・上昇難	○製品ニーズの変 化への対応
製造業 (繊維製造業は除く)	○需要の停滞	○製品(加工)単価 の低下・上昇難	○製品ニーズの変 化への対応 ○原材料・人件費 以外の経費の増 加 ○取引条件の悪化
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○メーカーの進出 による競争の激 化 ○商品在庫の過剰
小売業	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○需要の停滞	○購買力の他地域 への流出
サービス業	○需要の停滞	○利用ニーズの変化 への対応	○人件費の増加

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	1
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	16
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	2
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	10
民間需要の停滞	10
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	30
生産設備の不足・老朽化	12
生産設備の過剰	4
原材料価格の上昇	13
原材料の不足	0
人件費の増加	13
原材料費・人件費以外の経費の増加	11
製品(加工)単価の低下・上昇難	44
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	5
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	7
熟練技術者の確保難	15
需要の停滞	81
その他 (・ 輸入増 ・ 円高)	3
合 計	246

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	3
製品ニーズの変化への対応	6
生産設備の不足・老朽化	4
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	2
原材料の不足	0
人件費の増加	1
原材料費・人件費以外の経費の増加	6
製品(加工)単価の低下・上昇難	13
金利負担の増加	2
取引条件の悪化	6
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	1
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	26
その他 (製造現場の海外拠点化)	1
合 計	76

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
メーカーの進出による競争の激化	5
小売業の進出による競争の激化	4
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	4
商品在庫の過剰	5
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	4
販売単価の低下・上昇難	7
仕入単価の上昇	2
金利負担の増加	3
代金回収の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	21
その他	0
合 計	60

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	14
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	8
消費者ニーズの変化への対応	5
店舗の狭隘・老朽化	0
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	3
人件費以外の経費の増加	1
販売単価の低下・上昇難	6
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	4
従業員の確保難	1
需要の停滞	9
その他 (万引き)	1
合 計	52

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	3
利用者ニーズの変化への対応	6
店舗施設の狭隘・老朽化	4
人件費の増加	5
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	4
材料等仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	0
需要の停滞	11
その他 (教育)	2
合 計	43

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

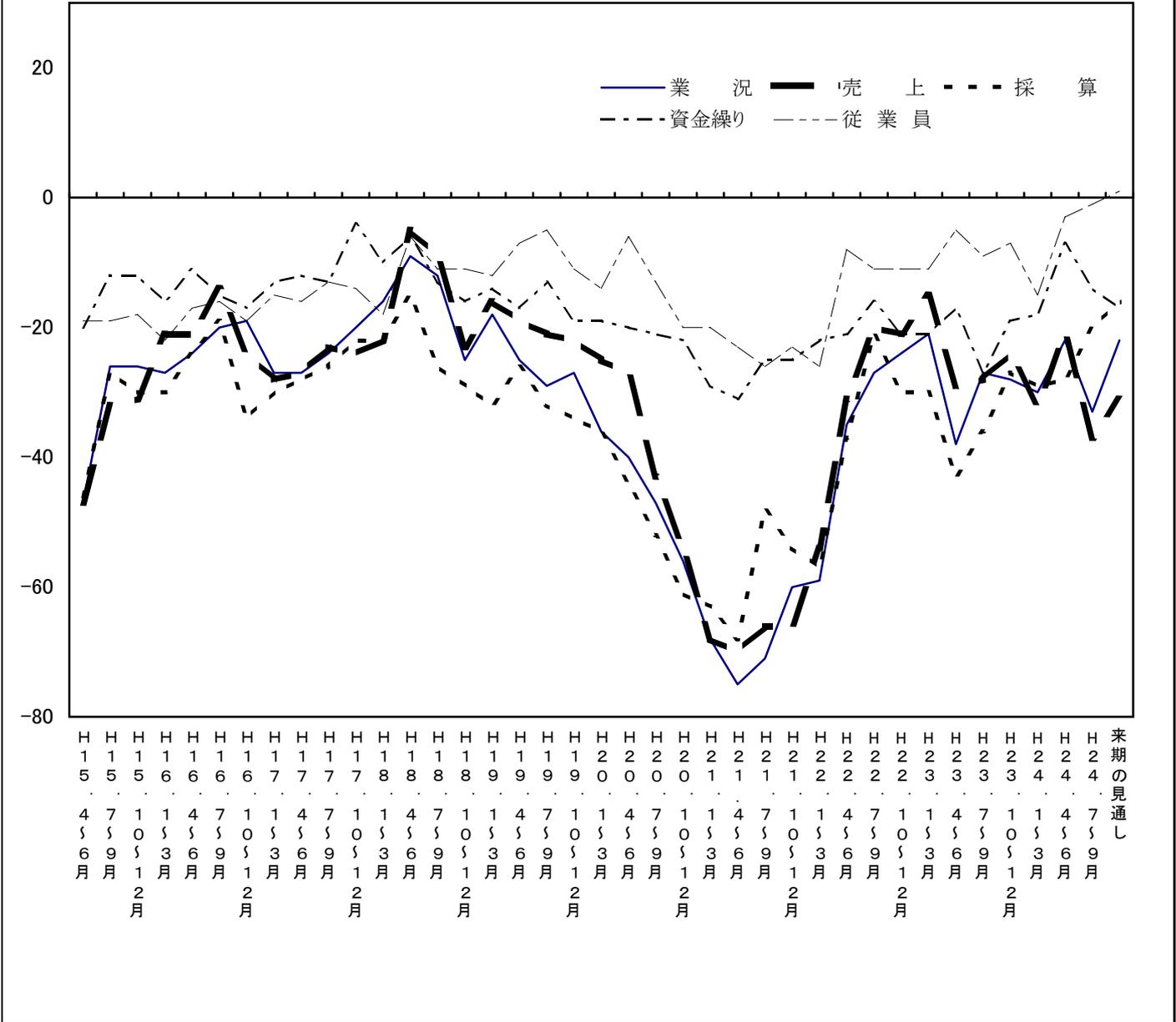


図 2

業 況 DI - 前年同期比 -

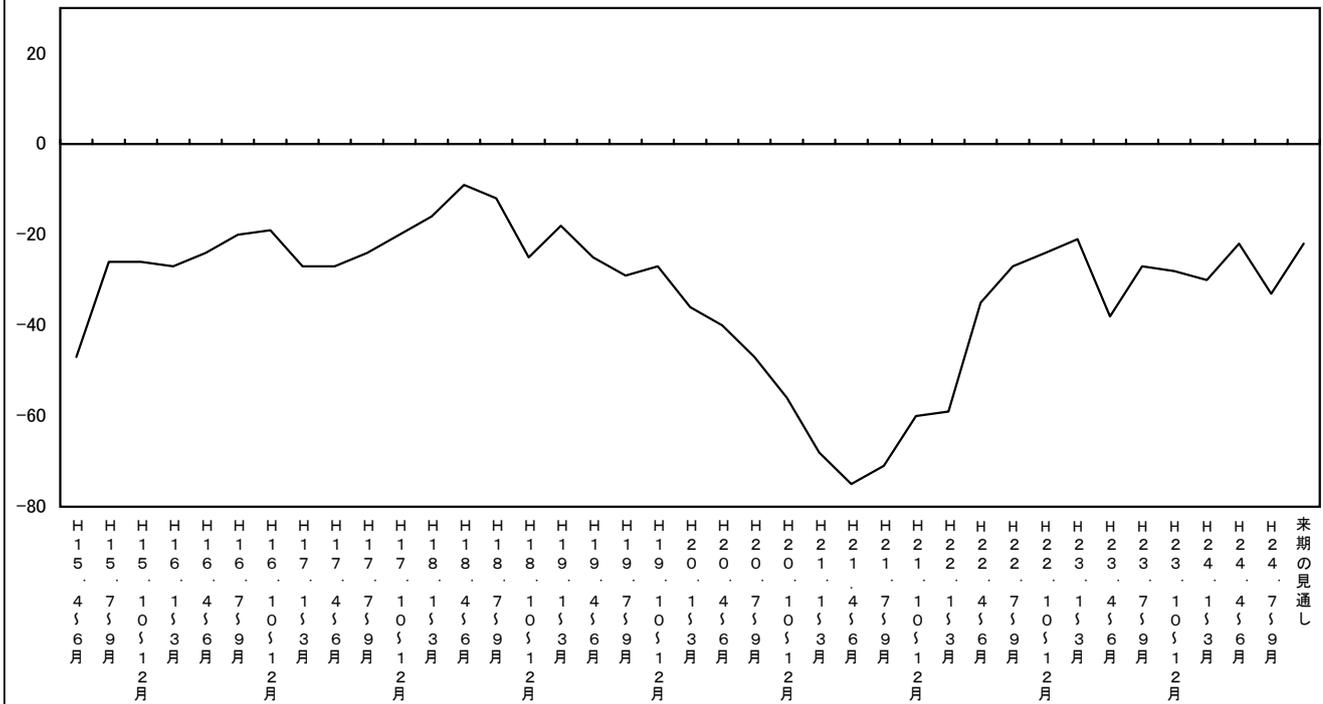
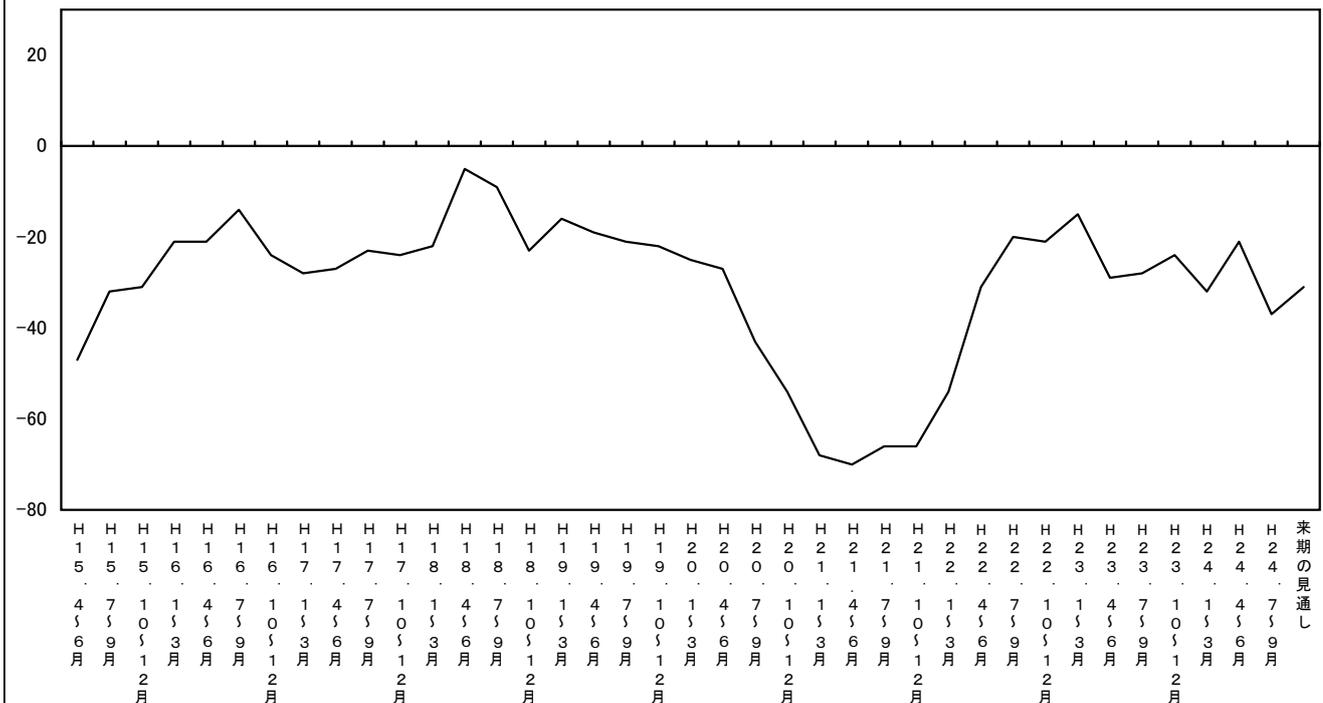
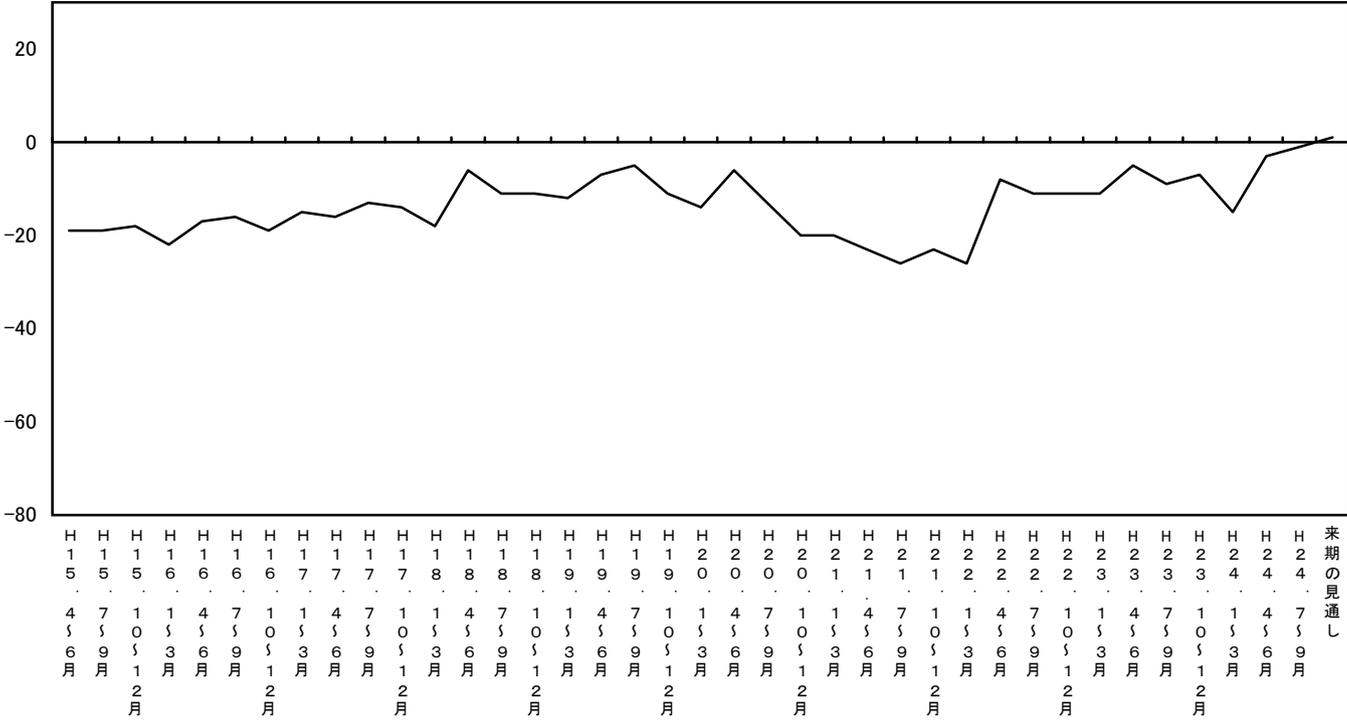


図 3

売 上 DI - 前年同期比 -



従業員 DI ー前年同期比ー





一宮商工会議所
中小企業相談所

一宮市栄四丁目2番1号 (〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp